

# 5 協働社会の推進

達成度  
アイコン

0~10

11~30

31~50

51~70

71~90

91~100

## 環境保全活動の連携

H17 (基準年)	H26	H27	H28	H32 (目標)
まいづるクリーンキャンペーン参加者数				
市民の 15人に1人	市民の 9.8人に1人	市民の 10人に1人	市民の 9.5人に1人	市民の 8人に1人
達成度 (%)	81.6 	80.0 	84.2 	100



### ● 連携の仕組みづくり

#### 【まいづるクリーンキャンペーン実行委員会】

「わたしたちのまちを、わたしたちの手できれいにしよう」を合言葉に、まいづるクリーンキャンペーン実行委員会の主催により、毎年7月に全市一斉の清掃活動「まいづるクリーンキャンペーン」が実施されています。平成28年度は142組7,873人の参加申し込みがあり、一斉清掃日当日には約24トンの散乱ごみが回収されました。



クリーンキャンペーン全市一斉清掃

市は、この活動を支援するため、ゴミ袋の支給や清掃後のごみ回収などを行っています。

同会では全市一斉清掃のほか、ビーチコーミングなどの環境美化啓発活動にも取り組んでいます。

#### 【舞鶴の川と海を美しくする会】



美化強調月間の清掃活動

舞鶴の川と海を美しくするため、毎年6月と10月を美化強調月間と定め、関係機関と協力して全市的規模で河川や海岸などの清掃活動が実施されています。平成28年度は、のべ約14,700人の参加がありました。

市は、この活動を支援するため、ゴミ袋等の支給や清掃後のごみ回収などを行っています。同会では、清掃活動のほか、環境美化絵画の募集やエコウォッチングなどの環境啓発活動にも取り組んでいます。

#### 【まいづる環境市民会議】

市民、事業者、市民団体等の参加・協働により、「第2期舞鶴市環境基本計画」の具体的な取り組みを中心となって推進するため、平成24年4月30日に設立され活動しています。平成28年度末現在で、35団体・62個人が参加しており、環境基本計画の進捗管理を行うとともに、「地球温暖化防止」、「循環型社会」、及び「生物多様性」の3つのプロジェクトチームにより、環境保全活動に取り組んでいます。



まいづる環境フェスタ

平成28年度は、環境について楽しみながら理解を深めることができるイベント「まいづる環境フェスタ」を舞鶴赤れんがパークにて初開催し、多くの方々に環境啓発を行いました。



## 5 協働社会の推進

### 【各プロジェクトチームの活動内容】

#### ①地球温暖化防止プロジェクトチーム



【みどりのカーテン】ゴーヤの苗の配布会

ゴーヤの苗の配布会  
テンの育成及び地球温暖化に関する環境学習を実施。

▽市内の小学校や高等学校で、地球温暖化をテーマとした環境学習を実施。

家庭における省エネや再生可能エネルギーの普及啓発、事業所における環境マネジメントシステムの普及活動など、地球温暖化防止に向けて取り組んでいます。

▽環境フェスタ等のイベントやショッピングセンターらぼーるで家庭の省エネ相談を実施（合計88人が来場）。

▽みどりのカーテンの普及のため、市内の保育所や福祉施設など合計30施設にゴーヤの苗の配布を行ったほか、市民227人にゴーヤの苗の配布及び地球温暖化の講座を実施。また、市内小学校3校で、みどりのカー

#### ②循環型社会プロジェクトチーム

3Rや環境美化活動の企画・運営や啓発イベントの実施により、循環型社会の実現に取り組んでいます。

▽ごみを減らす生活を考えるための子ども向けワークショップ「買い物ゲーム」を通じて、ごみ減量の啓発を実施（市内小学校1校36人）

▽ペットボトルのキャップを市内小学校11校や市役所に設置したボックスで回収し、そのキャップ売却金を世界の子どもたちを守るためのワクチン購入費として寄付する活動を実施（1,520\*。資源化、ポリオワクチン945人分寄付）

▽不要になったおもちゃを持ち寄り交換するおもちゃ交換会「かえっこバザール」を5月（200人が参加）と10月（520人が参加）に開催し、リユースの啓発を実施

▽環境フェスタにおいて、まいづるクリーンキャンペーン実行委員会と共催し、ごみ減量や海ごみ問題などを啓発（900名が参加）。



おもちゃ交換会「かえっこバザール」

#### ③生物多様性プロジェクトチーム









自然観察会

舞鶴の宝物である豊かな自然や動植物など、生態系や自然環境の保全に向けて取り組んでいます。

▽舞鶴に生息する動植物や特色ある景観を紹介した自然観察ガイドブック「舞鶴フィールドミュージアム」を活用し、夕潮台公園（春51人、秋47人が参加）や多祢山（43人が参加）などで自然観察会を開催。また、関連団体が実施する自然観察会においても同冊子を活用し、ガイドを実施。

▽市内の小学校や公民館において、生物や自然をテーマとした環境学習を実施。

## 環境学習・環境教育の推進

H17 (基準年)	H26	H27	H28		H32 (目標)
環境をテーマとした講座等の実施回数 (回/年度)					
68	81	94	116	➡	100
達成度 (%)	81 	94 	116 		100
まちの先生の登録者数 (団体・人)					
2	7	7	7	➡	20
達成度 (%)	35 	35 	35 		100

### ● 環境学習の充実、出前型講座の拡充

環境に対する意識の向上を目的に、出前型講座など積極的に学習機会の提供に努めています。

平成28年度は、まいづる環境市民会議と連携・協力して、みどりのカーテンを活用した授業など地球温暖化防止に関する講座、ごみ減量など3Rに関する講座、及び自然や生き物に関する講座を実施したほか、清掃事務所やリサイクルプラザなどごみ処理施設の見学・説明を行いました。



みどりのカーテンを活用した環境学習(由良川小学校)

### ● 自然体験学習の充実

市民団体等が主催する学習会や自然観察会等の取り組みを支援しています。

平成28年度は、まいづる環境市民会議が主催する自然観察会や、舞鶴の川と海を美しくする会が主催するエコウォッチングの支援を行いました。



自然観察会(夕潮台公園)



エコウォッチング(池内川)



# 5 協働社会の推進

## ● まちの先生（生涯学習ボランティアバンク）の利用促進

目標（指標）である「まちの先生（環境・自然観察分野）」の登録者数は、平成28年度には7団体・人となっています。

利用促進のため、広報まいつるへの掲載やホームページでの紹介、各公民館や図書館、学校や福祉施設等に案内チラシの配布などを行い周知に努めています。

### 【環境・自然観察等の分野の「まちの先生」登録者】

登録者氏名 団体等	指導内容等	連絡先	経費	活動可能 日時	活動地域	指導可能 人数・年代
志楽地域学校農園 クラブ（山本 秀之）	学校農園での栽培実習 学級の栽培指導・支援	TEL 64-6259	無料	要相談	志楽地区	60人前後 小学生
舞鶴・加佐自然同好会 （佐藤 淳）	自然観察ガイド・講義、 国定公園内登山ガイド	TEL・FAX 83-1555	実費（資料代・ 交通費）	土・日・祝 （平日要相談）	府北部	5～30人 中学生以上
佐藤 淳	自然観察ガイド・講義、 手作りの遊具	TEL・FAX 83-1555	材料費等 （実費相当額）	土・日・祝 （平日要相談）	府北部	5～20人 小学生以上
坂根 康弘	地形や地質、岩石等の 解説や現地案内	TEL 75-3119	無料	いつでも	舞鶴市 近辺	5～20人 小学生以上
まいつる探検隊 （嵯峨根 八郎）	市内・隣接市町を 自然探索	TEL 080- 1402-5038	交通費 （要確認）	要確認 （年7回程度）	市内・ 隣接市町	何人でも 何歳でも
まいつるシェアリング ネイチャーの会 （奥本 與彰）	ネイチャーゲーム	TEL・FAX 68-0032	無料	いつでも	市内	5～50人 何歳でも

※平成30年3月現在

### 【利用方法】

- ①「まちの先生」の中から、学びたい分野の先生（登録者）を探します。
- ② 先生（登録者）へ直接連絡をとり、日時や会場など詳細を打ち合わせます。

## 環境情報の提供

### ● 環境情報の充実

環境白書を毎年発行しているほか、まいつる環境市民会議と舞鶴市により作成した「舞鶴フィールドミュージアム」の販売やウェブ版を市ホームページに掲載するなど、様々な冊子やチラシの発行、ホームページなどを通じて、環境情報のわかりやすい発信に努めています。



環境白書



舞鶴フィールドミュージアム



未来のために、いま選ぼう。

# クール チョイス COOL CHOICEで地球温暖化防止

## COOL CHOICE共同宣言を実施

「COOL CHOICE」(クールチョイス)は、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資する、また快適な生活にもつながる「賢い選択」を促す地球温暖化対策のための国民運動です。

舞鶴市は、「COOL CHOICE」に賛同登録し、平成29年6月29日に、まいづる環境市民会議と共同でCOOL CHOICEによる地球温暖化対策を推進する旨の「COOL CHOICE共同宣言」を行い、持続可能で豊かな地域づくりに向けて取り組みを進めています。

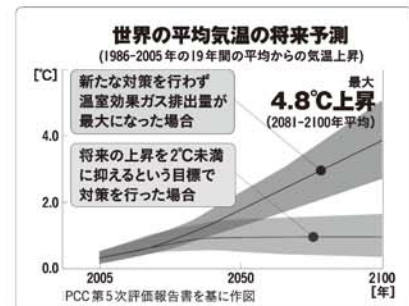


COOL CHOICE 共同宣言

## 深刻化する地球温暖化

地球温暖化により、世界の平均気温は産業革命以降に1度近く上昇しており、その影響による被害が既に世界各地で出ています。さらに、2100年までに最大4.8度上昇するといわれており、将来のリスクとして、高潮や沿岸部の洪水の増加、豪雨など極端な気象現象の増加、熱中症等による死亡や健康被害、農業や水産業への影響、気温上昇や干ばつによる食糧不足、水不足、生態系への影響やそれに伴うサービスの損失など、私たちの社会への様々な影響が予測されています。

これらの影響を緩和するためには、地球温暖化対策をより一層進めていく必要があります。



世界の平均気温の将来予測

出典) 京都府地球温暖化防止活動推進センターより

## 未来のために、いまCOOL CHOICEを

地球温暖化などの地球環境問題は、私たちの普段の生活や活動が、目に見える場所だけでなく、遠い外国や未来の子どもたちへの被害につながる問題であり、『地球規模で考え、地域で行動する(Think globally Act locally)』ことが重要だといわれています。

舞鶴市では、まいづる環境市民会議と連携して、COOL CHOICEについて多くの方に知っていただき、関心を持っていただき、行動に結びつけていただくため、以下の様な啓発活動など様々な取り組みを行っています。クールチョイスホームページ(裏表紙参照)もご覧いただき、地球温暖化防止のため、身近な生活の中でCOOL CHOICEに取り組みましょう。



まいづる環境フェスタ



COOL CHOICE ラッピングバス



FMまいづるでCOOL CHOICE 情報発信